

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
出雲市	大津地区	令和3年 3月31日	年 月 日

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	44.3 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	28.9 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	15.7 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	9.9 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.1 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	13.8 ha
(備考)	

### 2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地の転用が進み農地が急速に減少している。</li> <li>・水稻の場合は機械投資が大きいので新規就農しにくい。</li> </ul>
--

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

大津地区の農地利用は、中心経営体である6経営体が担い、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進することにより対応していく。
受け手の見つからない農地については景観作物を栽培するなどし保全に努め、担い手を募り対応する。

### (参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
			ha		ha	
			ha		ha	
			ha		ha	
計	6経営体		29.2 ha		43.0 ha	

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
出雲市	塩冶地区	令和3年 3月31日	年 月 日

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	86.5 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	56.7 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	31.8 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	24.8 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.3 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 (備考)	9.2 ha

## 2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手が高齢化しているため農地を受け手がいない。</li> <li>・宅地化が進む地区での農業になるため宅地の中に田が残り耕作しにくく集積も難しい。</li> <li>・農業をするためには基盤整備が必要だが、地元理解が得られる状況にないので整備できない。</li> </ul>
--

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

塩冶地区の農地利用は、中心経営体である6経営体が担い、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進することにより対応していく。
担い手の高齢化対策のため、まずは比較的若い世代を集め軽作業(田畑の草刈りなど)を行い、将来的には営農組織へステップアップさせ集約を図る。

## (参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
			ha		ha	
			ha		ha	
			ha		ha	
計	6経営体		31.8 ha		41.0 ha	

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
出雲市	四絡地区	令和3年 3月31日	年 月 日

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	94.6 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	69.2 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	39.8 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	34.5 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.0 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	10.6 ha
(備考)	

### 2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・用水が完全に壊れている箇所が複数あるが、直してもらえない状況で新たな耕作者に依頼することもできない。</li> <li>・条件不利地である中山間に対する支援は手厚いが、同じ条件不利地でも市街地農業に対する支援はない。条件不利地における農業では支援なくては経営を継続できない。</li> </ul>
--

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

四絡地区の農地利用は、認定農業者や営農組織を中心とした中心経営体が担い、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進することにより対応していく。
四絡の中で宅地化が進んでいない地区については、農地を集約し近隣経営体が担うことで対応していく。

### (参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
			ha		ha	
			ha		ha	
			ha		ha	
計	15経営体		47.8 ha		58.4 ha	

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
出雲市	高浜地区	令和3年 3月31日	年 月 日

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	260.3 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	183.6 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	102.6 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	91.8 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.0 ha
④地区内において今後中心経営体引き受ける意向のある耕作面積の合計 (備考)	22.0 ha

### 2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・米価は上がらない一方で資材が高騰しており農業では生活ができない為に若い人が担い手にならず高齢化が進んでいる。</li> <li>・水が来ない、道が狭い、区画が狭いなど農業する上で条件不利地が多い。各種支援制度を活用して基盤整備をしたいが、支援内容が複雑かつ多岐に渡っており農業者自身が理解できず活用できていないのが現状。</li> <li>・多面的機能を使って修繕したいが、地元の協力が得られないので協定が結べない。</li> </ul>
---

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

高浜地区の農地利用は、中心経営体である14経営体が担い、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進することにより対応していく。
農地維持を目的とした組織を結成し集約化に対応する。

### (参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
			ha		ha	
			ha		ha	
			ha		ha	
計	15経営体		154.3 ha		176.3 ha	

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
出雲市	川跡地区	令和3年 3月31日	年 月 日

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	202.8 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	133.8 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	71.2 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	57.0 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.0 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	22.5 ha
(備考)	

## 2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手が高齢化しており農業を辞める人が増えている。一方で水稻の新規就農は機械投資がかかる為、新規就農者がいない。</li> <li>・認定新規就農を目指そうとしても、かなり大規模な農地を確保しなければ所得目標が達成できず、耕作する為にも機械投資が莫大な為、認定新規就農を断念せざるを得ない。</li> <li>・営農組合でも後継者問題が顕著になっており、若手に出役してもらえない。</li> <li>・水が来ないなど条件の悪い圃場が多い。</li> </ul>
--

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

川跡地区の農地利用は、中心経営体である24経営体が担い、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進することにより対応していく。
新たな担い手確保の対策として法人設立を促進し、固定給で農業に従事する体制を確立し対応する。

## (参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
			ha		ha	
			ha		ha	
			ha		ha	
計	24経営体		130.2 ha		152.7 ha	

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
出雲市	上津地区	令和3年 3月31日	年 月 日

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	185.0 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	106.6 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	54.0 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	43.5 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.0 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	7.5 ha
(備考)	

## 2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・営農組合の構成員が高齢化しており、今後の組織運営に不安がある。</li> <li>・米を作るだけで手一杯の状態にあり、収益性の高い他の作物を栽培する余力がない。</li> </ul>
---

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

上津地区の農地利用は、中心経営体である7経営体が担い対応していく。
将来的には企業などの農業参入や認定農業者、認定新規就農者の受け入れを促進し対応していく。

## (参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
			ha		ha	
			ha		ha	
			ha		ha	
計	9経営体		82.5 ha		90.0 ha	

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
出雲市	鳶巣地区	令和3年 3月31日	年 月 日

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	114.0 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	80.0 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	49.2 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	41.8 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.0 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	17.5 ha
(備考)	

### 2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・水系毎の作物調整が出来ていない。</li> <li>・斐伊川からの伏流水と山水が滞留するので、土地が柔らかすぎる。</li> <li>・斐伊川の中に以前は牧草を栽培していた所があるが、今は何もしていないので整理が必要。</li> </ul>
--

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

鳶巣地区の農地利用は、中心経営体である9経営体が担い対応していく。
今後担い手が不足する場合は、他地区からの入植者を受け入れて対応する。

### (参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
			ha		ha	
			ha		ha	
			ha		ha	
計	9経営体		69.9 ha		87.4 ha	